

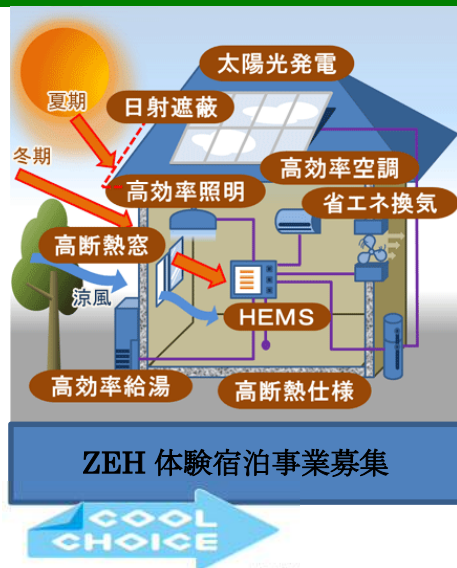
「COOL CHOICE ZEH 体験宿泊事業」協賛・連携事業者募集

環境省では、関係省庁をはじめ様々な企業・団体・自治体等と連携しながら、低炭素型の「製品」「サービス」「ライフスタイル」など、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を推進しています。

この度、国民の皆様へ、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の断熱基準又はそれに準ずる基準を満たした施設の宿泊体験を通じ、高断熱・省エネ住宅の良さを実感していただく「COOL CHOICE ZEH 体験宿泊事業」を実施します。このため、事業に協賛・連携して実施していただける事業者を募集します。

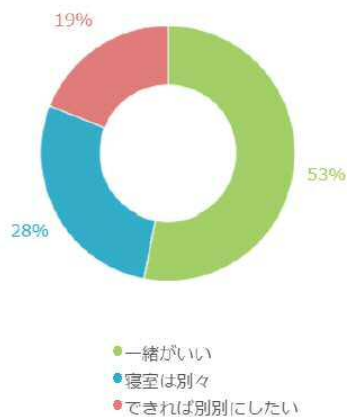
1. 公募期間:平成 29 年8月 10 日(木)16 時～平成 29 年9月 29 日(金)17 時
2. 対象者:住宅メーカー、工務店等
3. ZEH 体験宿泊実施期間:平成 29 年 12 月～平成 30 年2月末
4. 応募方法:「COOL CHOICE エコ住キャンペーン」Web サイトの応募ページから応募様式等をダウンロードし、募集要項にしたがって必要事項を記載の上、所定の方法で提出してください。

応募ページ URL <https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/jutaku/zeh>.



情報提供: 環境省

夫婦の寝室「一緒がいい」が53%



LIXIL住宅研究所はこのほど、全国の100名を対象に、『夫婦一緒の範囲』に関する各種調査を行った。夫婦の寝室は「共有」か「別々」かを聞いたところ、「一緒がいい」と答えた人が53%だった。その理由としては「震災など予期せぬできごとが起きたときに対応しやすい」、「体調の急変に気づきやすい」との意見が男性を中心に多く挙げられた。「別々」と答えた人は28%、「できれば別々にしたい」と答えた人は19%だった。別々にしたい理由では、「いびき」や「ライフスタイルが違うため別々にしたいが部屋数が足りない」といったものが見られた。

結婚後に下着を夫婦別々に洗うかを聞いた質問では、98人が「一緒に洗う」と回答した。「別々に洗う」と回答した2人の理由は、「実家での習慣で分けている」と「生地をいためないように分けている」だった。

そのほか、夫婦一緒に食事をとるかを尋ねたところ、「一緒に食事をとっている」という人が68%だった。回答者には、料理から後片付けまで二人で協力している人が多く見られた。「別々に食事をとることが多いが、できるだけ一緒にとりたい」は22%「別々に食事をとっている」は10%だった。

夫婦で協力して家事をするかを聞いた質問では、「妻が(ほとんど)家事を行っている」が最多で44%。次に多かったのは、「協力して家事をおこなっている」(42%)で、それぞれの適性を見極めて家事を分担している夫婦や、分担を決めずに気が付いた方が家事を行う家庭が見られた。

情報提供: 新建ハウジング

学生のアイデアを実物件化 千葉県で1戸分譲

ポラス(埼玉県越谷市)は8月10日、同社が学生を対象に実施した木造住宅の建築デザインコンペの応募作品を実物件化するプロジェクトで千葉県松戸市に建てた住宅を報道関係者に公開した。家の中央に外部空間的に使える吹き抜け土間を大きくとった3階建て住宅で、庭が取りにくいなどの都市型ミニ開発の住環境改善を狙った。提案者はコンペ当時(2014年)、九州大学院生で、現在、北川原温建築都市研究所に勤務する松川真友子さん。

縦長住宅の真ん中の部分を90度回転させたような外観が特徴。その部分が大きな吹き抜け土間となり、細長い狭小地でも光と風を取り込み、外部環境ともつながりを持たせるというアイデア。土地面積は101m²で、延べ床面積は125m²。耐震等級3。販売価格の目安は5000万円強。



情報提供: 新建ハウジング